

おおねにめ

昭和54年4月号 No.315

編集と発行 鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課文書広報係
電話 (09942) 2-0511~0515
印刷 さかせがわ印刷 (09942) 2-0140

町の人口 昭和54年3月1日現在推計人口
男 4,516人 計 9,677人
女 5,161人
2月1日より11人増

住民の意見を受けとめ町政の 振興に努力し明るく住みやす い町をつくりまします

農業の振興

農業を柱として経済基盤を打ち立て、町の総合的な発展に寄与して行くためには農家農業機関、行政が一体となつて、その理解と合意の下で成果を引き出して行く努力が必要だと思われまします。



町長 大西 幸夫

本年度は、農政特別対策事業、農村振興運動を柱に話し合い活動を中心とし、農政に取り組んで行きます。

土地有効利用 農業委員会等との連携を密に農地利用増進による賃貸事業の利用の向上に努め、小規模の基盤整備も考えたい。

畑作の振興 現在農協等の指導によりソラ豆、実エンドウ、加工馬鈴薯、きぬぎやについて、奨励しつつあり、ほかの作目の選定等も含め、更に農協等とも連携をとり定着するよう努力したい。

畜産 引き続き資質の向上自給飼料の確保について農協とも指導し、また、土づくりのために肥料の耕地還元についても指導を進めたい。

指導体制の充実 農家の指導は技術会等の協力を強め、各生産組織の強化、生産組織

54年度 施政方針

を中心とした営農指導体制を整えるよう努力する。
主要作目の産地確立 競合

道路等生産基盤の整備

国県道の整備 池田根占線は松坂地内約250mの改良鹿屋吾平佐多線は中野地区約120mの新設改良、神川内之浦線は九尾地内の防災工事町道松尾線は泉宮で約130mの改良、国道269号線は長谷地内交通安全施設の整備を進める。

海岸保全事業 馬場海岸約140mの離岸堤の整備を予定し、神之浜海岸の海岸保全については55年度からある程度大規模な保全事業を本県と協議し、その実現に努める。

港湾整備 南側防波堤、北側防波堤をはじめ、物揚場、船揚場の整備を予定、また、堂之元の船溜りと漁業施設については新5ヶ年計画で協議してゆきたい。

町道の整備 本年度も過疎債をはじめ広域道路整備事業債等の適用を受け、その整備

する産地に充分対抗してゆくためには、市場の状況を充分把握し改善等の意欲を向上せしめ、安定を図ってゆく。

農業にない手の育成 育成協議会を通じて研修やグループ活動の輪を広げ、総合的な知識を習得させ、活気に充ちた農業青年の育成に努めたい。

水田の病虫害防除 現時点では地上による防除に転換し農家の理解と関係者との話し合いにより防除効果と事故防止に努めたい。

飼料基盤の整備事業 飼料畑、既存畑、農牧道の整備を計画。

の促進をはかりたい。また、部落内生活道の整備も引き続いて進めたい。

農道の整備 農道の整備は各方面からの要望が多いので意見を集約して、3年から5年の整備計画で検討を行なう。その中で農免道路事業の導入も考慮したい。

広域農道 関係町が共同で国県に働きかけて本年度は分割して採択になる見通し。

社会福祉対策

社会福祉に対する住民要求は多様化、高度化して、住民の福祉意識は受け身から参加する福祉へと変革する傾向を示しています。

本年度は老人、母子家庭、身障・精薄者などいわゆる弱者といわれる人々の福祉対策

を考えてゆきたい。

社会福祉協議会の法人化は本年度において設立にこぎつけるよう努力し、また、池田地区の保育園の設置についてもその実現に努めたい。

墓地移転事業についても積極的にその促進に努力したい。

土地対策

鳥浜の工業団地については町内の酒造工場の移転立地と医師会の総合病院の設置のための敷地を提供しその実現に努める。

法務局の土地売却に関連した隣接地は県の教職員用住宅1戸の建設を計画。

国民健康保険事業

国保財政は一般の療養費はもちろん、老人医療費、高額療養費の増加をともなうため54年度は税率の改正をお願いすることにいたしました。今後は被保険者に対し、健康保持の指導に力を入れ、療養費の増加に対する対策に努めたい。

水道事業

上水道事業は給水開始以来11年を迎え、ようやく不良債務の解消の見込みがみえ、平常の運営が出来る段階になっています。しかし、今後は需要の増高による水源の確保が予想されるので、別途に水源の確保についての調査や、現在の水源地附近の土地取得、石神線の配水管の新設を計画しています。



明るい選挙は わたしたち一人一人の手で

町議会議員選挙………4月22日

選挙はわたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしをよくするための貴重な「意思表示」です。

これからの政治を任せる人を選ぶにあたって、わたしたちは冷静に悔いらない一票を投じたいものです。そして、みんなの一票が正しく政治に生かされるためには選挙は公正に行われなければなりません。4月22日の町議会議員選挙を前に公正で明るい選挙を実現するために、私たちが有権者が心得ておきたい基本的なルールをいくつかを、紹介しましょう。

いろいろな投票制度

投票は投票日に有権者が投票所に行き、自分で候補者の氏名を書いて投票するのが原則です。しかし、やむを得ない特別の事情によって投票日に自分で投票できない方などのために、次のような制度が設けられています。

代理投票 身体の故障などのため、自分で投票用紙に候補者の氏名を書くことができない人。



点字投票 目の不自由な方。不在者投票 投票日に仕事などの「やむを得ない事情」で投票所に行けない方。これらの人は告示の日から投票日の



郵便による不在者投票 (在宅投票制度) 在宅投票ができる方は身体障害者手帳、戦傷病者手帳を交付されている方でその程度の一定の基準にあてはまる人に限ります



こんな選挙運動は違反です

選挙運動ができるのは、立候補届け出がすんだときから投票日の前日までです。

選挙運動は本来自由であるべきですが、公正な選挙を行うために、公職選挙法でいくつか制限が加えられています。

◆個別訪問◆
有権者の家をたずねて、投



○投票用紙以外の用紙に氏名を書いて投票したもの
○二人以上の候補者の氏名を書いたもの
○候補者の氏名のほかに余計なことを書いたもの

こんな投票は無効です

有権者宅に限らず会社や工場も含まれます。

◆署名運動◆
ある特定の候補者のための署名、回覧、その他、その他のいかなる問はず選挙に関する

◆候補者以外の者が開く演説会◆
◆連呼行為◆
◆人気投票の公表◆
◆氣勢を張る行為◆



候補者などの寄附は全面禁止

～贈らない・求めない・受け取らない～

(選挙の時にかぎらず、日ごろからみんなで「きれいな選挙」を心がけましょう。)

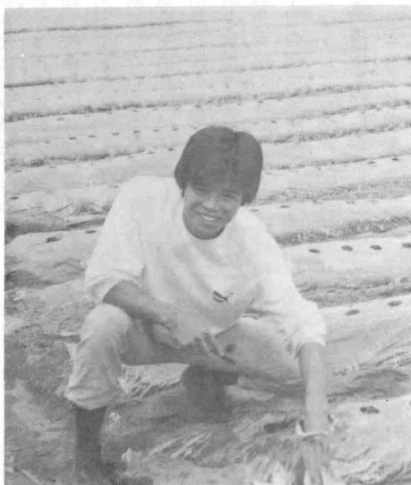
あ、青春⑤

園芸作物に

取り組む

中園・竹下千敏さん

(24才)



千敏さんは、鹿屋工業高校の機械科を卒業後、静岡県の空調器の会社に就職。2年後故郷へUターンした農業後継者の青年です。

部落は中園、現在、両親と共にジャガイモ、キヌザヤ、インゲンなどの園芸作物を中心に土と取り組んでいます。

青年団活動は町連合青年団の副団長を経験し、団員のまとめ役。青年団員からの評判もよく、団のマスコミ的存在。またスポーツではバレーが好きで期待のサブアタッカー。今後の農業のあり方について「これからの時代は土地というものが重要な価値をもち農業後継者は苦労を強いられるのではないだろうか。地主は土地を持っていても売らないし、自分の土地でいかに反収をあげるかが問題になる」と思っています。

「これから農業はやはり消費者の希望する作物、つまり金になる作物」を作り、農協や市場とタイアップしてゆかなければなりません。農協は私達に対して資材・飼料・肥料など安く、そして安定した供給をおねがいしたいと思っています。また耕作者が安心して作物を出荷できるようにお願いしたい。私達は農協をたよらざるを得ない訳ですから、農業後継者の花嫁について私は自分の年齢より若く見られるようですので今のところ縁談なんてないですよ！結婚は縁だと思っています。しかし理想は持っています。おとなしく、ひかえめな女の子がいいと思いますね。

熱戦・混戦を展開！

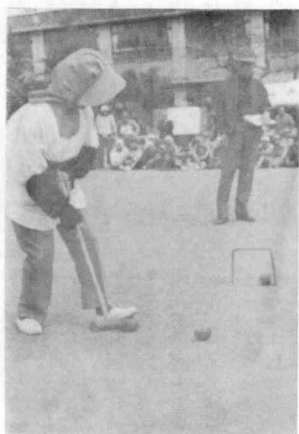
一球ごとに歓声

老人ゲートボール大会

本町の強豪18チームで競う老人クラブ対抗ゲートボール大会（鹿児島銀行杯）が雨にたたられ、4月4日に再度大根占小学校グラウンドで行なわれました。

試合は3コートに別れ、審判員のホイッスルで一斉に始まりました。

第一打はいささか緊張しがふるえる……「カキーン」ボールがゲートを通過すると審判員が「第一ゲート通過」と大きな声で合図する……。



（入ってくださいノと）
（スパークをする選手）

日ごろ練習に練習を重ねて本番に望むため、第一ゲートは1回、2回位でパスする選手が多く、敵味方のボールが入りみだれ、混戦・熱戦がつづき、スパークしたり、されたり、そのたびごとに歓声がわく。

優勝戦は各パートの勝利チームのリーグ戦で行なわれ、城元チームが2勝で優勝！鹿児島銀行から大トロフィーが贈られました。また、優勝できなかったチームは次回こ

昭和54年度

教職員異動

◆転出◆

- ◎大根占小（教諭）岩下啓式（持留小）松原慶徳（串木野小）山下とし（退職）（助教諭）吉原千津子（退職）
- ◎神川小（校長）川前嘉秋（退職）（教諭）前之園芳啓（国分西小）（助教諭）鹿島洋子（大根占小）
- ◎宿利原小（校長）福岡正治（退職）（教諭）林純一（一切通小）福田孝志（附属小）
- ◎池田小（教諭）宇都正敏

文化財探訪⑫

半下石田ノ神像



昭和3年12月14日の作である。（同部落半下石繁夫氏日記から判明）作者は福原矢吉である。

この辺一帯の水田を守ってくださる神様として大切にされている。頭にこしき、右手にしゃもじ、左手にすりこぎを持っている。

右足にぞうり、左足に下駄をはいているのがこっけいで、県下でも大変珍しい田の神像である。

現在地は、半下石公民館西方200メートルの三き路（通称タバイ）である。

皆倉松二さん逝く



町議会議員の皆倉松二さんは昨年7月頃から健康がすぐれず鹿児島市立病院に入院され、専心加療に努めていらつしやいましたが、3月2日に満63歳を期に逝

去されました。同氏は昭和26年に町議会議員として当選し今日まで5期19年の有念にわたり、その間町議会議員の要職も勤められ、地方自治の推進と郷土発展に大きな足跡を残されました。誠実、温厚そして責任旺盛な人柄は町民だれからも愛され、親しまれ、これからの活躍が期待されていただけに、惜まれてなりません。町民一同、同氏のごめい福をお祈り申し上げます。

皆倉

中村ツヤ子さん
長女 貴子ちゃん（3カ月）

私と赤ちゃん⑭

貴子は長女で第二子、出生時の体重は2880gでした。現在は4150g、ちょっと小さいですけど病気はいまのところしていません。よく寝ていますね。長男の誠（5歳）が子守りをしてくれてます。

授乳は母乳よりミルクが多く、1日5回140cc位を与えて

私も主人も子ども達には農業はさせたくありませんし

とくに、貴子には看護婦や美容師のような女の職業についても、職業についてもらいたい。しかし、子どものうちには元気でさえあればいいですね。



太陽の子運動推進員

皆倉

皆倉アツ子さん



推進員に任命されて、8年になります。担当は皆倉地区私達のところは若い妊婦さんや母親が少いものですから

出生も年に4・5人位です。私も暇をみつけては、妊婦さんや乳幼児をもつお母さん達と母親学級のことや妊婦健診の伝言、習ったことをふくめた雑談をするのが楽しみです。私達の子育て時代になかった県民運動（太陽の子）をおおいに利用し、立派な子どもを育てて、そして、母子ともに健康に過されることを願っています。

おしらせ

移動交通事故相談所が
毎月第一水曜日に開かれます

行政相談委員に

麓の百枝さんを再任！

行政相談委員の百枝重孝さんが行政管理局長官から再任されました。

行政相談委員の仕事は、例えば恩給、年金、登記、道路公害、公社、公団、公庫などの行政に関する苦情、心配ごとなどについて町民のみなさんのよき相談相手となつて解決のため努力していただくことになっていきます。

もちろん、相談は無料で秘密は守られます。

百枝重孝さんの連絡先は大根占町馬場65番地（麓部落）電話は②0720番です。

働く人びとの職場

体験記を募集！

日本労働協会では職場で働く人、技能訓練過程にある人

の体験やそれに基づく意見を募集しています。

◎募集テーマ（次の中から一つ選んで下さい）

①職場と私

◎原稿枚数：400字詰原稿用紙4～6枚（用紙の第1ページに住所、氏名、年齢、職業をそれぞれ明記して下さい）

◎応募資格：職場で働く人、職業訓練を受けている人。

◎締め切り：昭和54年5月10日（当日消印有効）

◎原稿送付先：〒105、東京都港区芝公園1の7の6中退金ビル、日本労働協会「働く人びとの職場体験記」係

※応募作品は返却しません。

窓口営業時間が

変わります。

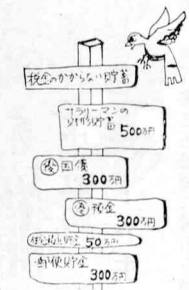
電報電話局

今月16日（月）から窓口営業時間に変更になります。

非課税貯蓄制度

税シリーズ②

銀行などに預金をしたときの利子などについては、原則として所得税がかかりません。しかし、貯蓄の奨励、勤労者の財産形成の促進などの観点から、一定の手続を執ることによって所得税が



簡易生命保険金が

11兆円を突破！

簡易保険は大正5年の創業以来、「郵便局の簡易保険」と広く親しまれ、利用されてきました。さる2月2日で資金総額が一兆円になりました。

この簡易資金は加入者の皆様からお預りしたお金を信託財産として、地元郵便局を通じて、地方公共団体が建設する学校・住宅・公園等に融資され、豊かな町づくり・住みよい社会づくりに役立っています。また、本町は52年度中に公営住宅建設資金に一千七百〇万円、融資をうけ、その総額が一億五千二百八万円になっています。

個人住宅建設資金

の貸付が始まる。

住宅金融公庫の個人住宅建設資金の54年度第一回受付けが四月下旬に始まります。

◎貸付利率：年5・05%

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業費にと次の方々から、香典返しにかけ寄附がありました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福を祈ります。（一）は故人。

垣内 正信（アキ）木原 前田シヅカ（友二）神一区 原口 貞治（ユリ）麓 皆倉 トミ（松二）皆倉 徳永 久己（吉太郎）皆倉 有川 明（フミ）城ヶ崎

錦江園へ

根占町の婦人会から金一封 麓の原口貞治さんから金一封 神一区の前田シヅカさんから

すずしろの里へ

金一封 根占町の鮎川吉治さんから つえ25本

広報紙の謝礼

大阪府高槻市在住の 瀧田 春吉さんから金一封 神奈川県平塚市在住の 北 逸雄さんから金一封 滋賀県八日市に在住の 前迫 一利さんから金一封 大阪府八尾市に在住の 川越 清己さんから金一封

編集室

から

次回から町民のみなさん方が楽しんでいただけるページを作成するため、町民のみなさんや本町出身の方々の建設的な意見や要望、随想、投稿を募集いたしますので、ぜひお寄せください。

送先 大根占町総務課広報係、又は役場前の世論箱へ：

チリはきまいった収集日の朝出ししましょう！！